

## 職業能力開発の推進について

	ページ
◇兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進	2
◇令和5年度 職業能力開発の施策体系	2
I 求職者に対する能力開発	3
1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発	3
2 民間教育機関等に委託して行う能力開発	7
II 在職者に対する能力開発	9
1 公共職業能力開発施設内で行う企業在職者等の技能向上	9
2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援	11
III 技能の振興と職業観の醸成	12
1 技能の向上	12
2 ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成	15

## ◇兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進

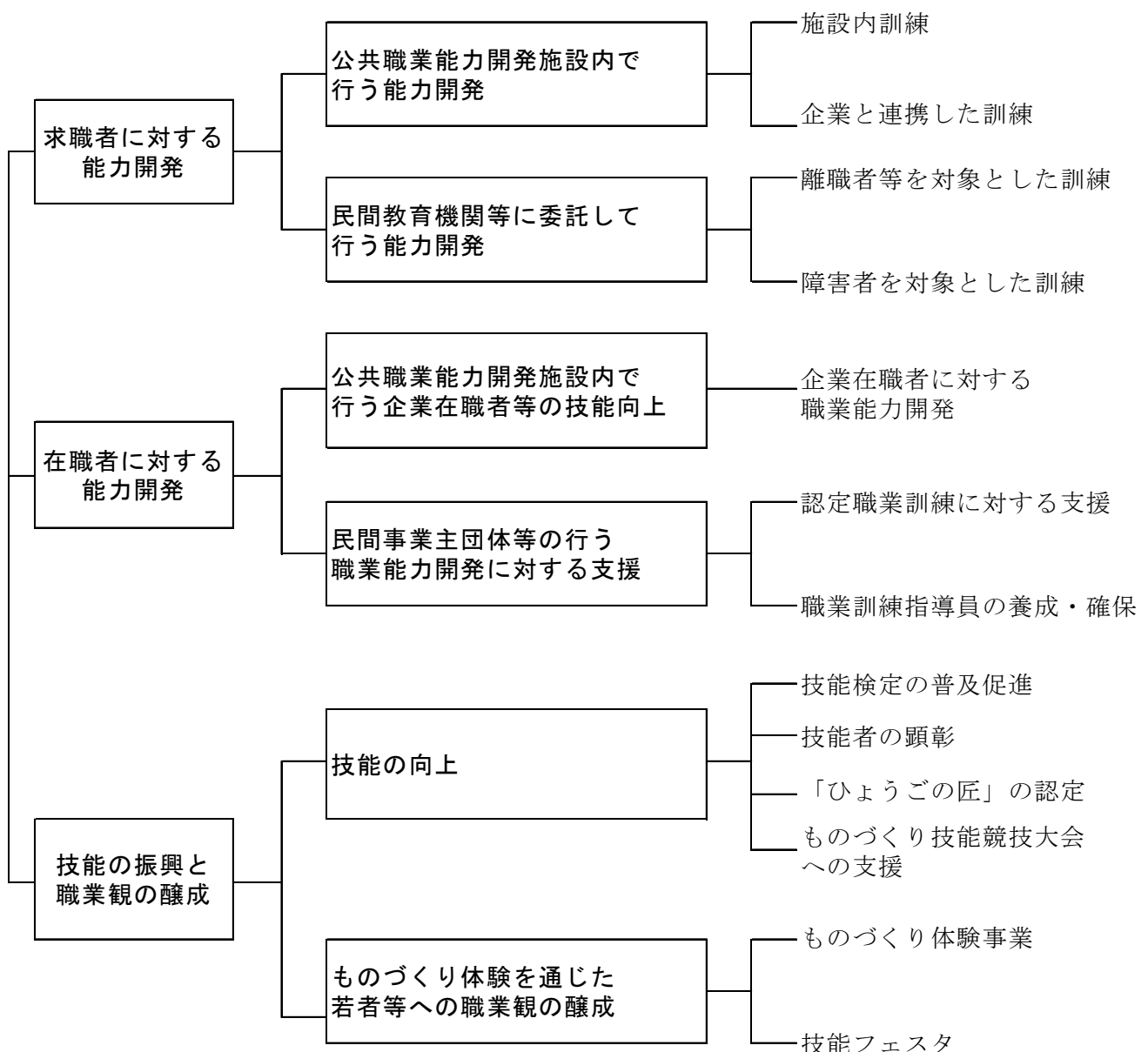
### 第 11 次兵庫県職業能力開発計画による施策の推進

職業能力開発促進法の規定により、国の職業能力開発基本計画に基づき策定した「第 11 次兵庫県職業能力開発計画」(令和 3 年度～7 年度)に定めた基本的方向に沿って施策を推進する。

〈第 11 次計画における職業能力開発施策の基本的方向〉

- 1 ポストコロナ社会を支える求人・求職者ニーズへの対応
- 2 長期化する職業人生におけるキャリア形成の支援
- 3 全員活躍社会の実現に向けた多様な働き方の推進
- 4 技能者の社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 公共職業能力開発施設における取組の充実

### 令和 5 年度 職業能力開発の施策体系



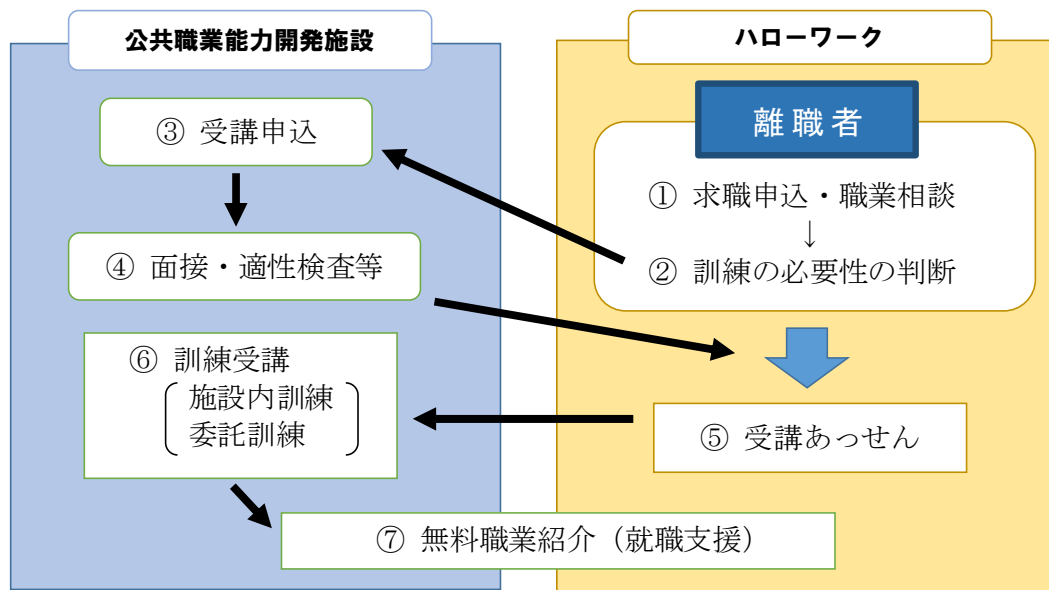
## I 求職者に対する能力開発

離職者や新規学卒者などの求職者の就業支援のため、訓練ニーズに応じた公共職業能力開発施設における施設内訓練及び民間教育機関等を活用した委託訓練を実施する。

また、障害者に対しては、障害特性やニーズにきめ細かに配慮した訓練を実施する。

### 【公共職業能力開発施設での受講の流れ】

ハローワーク（公共職業安定所）の求職者で、職業相談等を通じて受講が必要であると公共職業安定所長が判断した者が、ハローワークから受講あっせんを受け、訓練を受講



※ 新規学卒者は公共職業能力開発施設へ直接申込

### 1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発

県では、職業能力開発促進法に基づき、公共職業能力開発施設5校を拠点として、雇用のセーフティネットとしての役割を担うとともに、それぞれの地域における求人・求職ニーズに合わせた職業能力の開発を推進する。

一般校	ものづくり大学校（姫路市）
	但馬技術大学校（豊岡市）
	神戸高等技術専門学院（神戸市西区）
障害者校	障害者高等技術専門学院（神戸市西区）
	兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市）※国立県営

## (1) 施設内訓練

【令和5年度予算 400,137千円】

## ア 入校者等の状況

施設内訓練は、大規模な設備や専門的な指導体制のもと、ものづくり技能等民間では実施が困難な分野や、きめ細かな対応を必要とする障害者コースを実施する。

【実施状況(一般校)】 ※令和5年6月末現在

(単位:人)

校名	科目名	訓練期間	募集定員	入校者			① 修了者		② 就職者				就職率 (②/(①+③))	
				R3	R4	R5	R3	R4	R3	③ 就職 中退	R4	③ 就職 中退	R3	R4
ものづくり 大学校	住宅設備コース	1年	15	15	14	13	13	12	12	1	13	2	86%	93%
	木造建築コース	1年	15	8	15	13	7	15	5		11		71%	73%
	機械加工コース	1年	15	11	2	5	9	2	9	1	2		90%	100%
	機械製図・工作コース	1年	10	8	4	10	3	3	8	5	3		100%	100%
	溶接コース	1年	15	8	8	4	7	6	8	1	6		100%	100%
	金属塗装コース	1年	15	8	8	5	4	6	4	1	6	1	80%	86%
	ものづくり複合コース※1	1年	10	7	7	7	5	4	4	2	1		100%	100%
	CADコース	6か月	20	17	17	11	11	16	12	4	12		80%	75%
			20	20	19		19	17	15	1	12	1	75%	67%
計			135	102	94	68	78	81	77	16	66	4	85%	80%
但馬技術 大学校	自動車工学科(1年生)	2年	20	16	19	14					4	4	-	-
	〃(2年生)		[9]	[7]	[9]	8	6	8		6		100%	100%	
	建築工学科(1年生)	2年	20	14	10	14			5	5	1	1	-	-
	〃(2年生)		[13]	[9]	[8]	13	7	12		8	1	92%	100%	
	機械工学科(1年生)	2年	20	12	5	9							-	-
	〃(2年生)		[13]	[12]	[4]	13	12	13		12		100%	100%	
	総合ビジネス学科	1年	20	18	12	14	10	9	14	4	12	3	100%	100%
計			80	60	46	51	44	34	52	9	43	9	98%	100%
神戸専門 高等技術 学院	CAD/CAM加工コース	1年	15	8	8	10	6	8	7	1	8		100%	100%
	電気制御コース	1年	15	12	13	8	8	7	6	2	11	5	60%	92%
	印刷総合技術コース	1年	15	13	15	13	11	12	11	1	10	2	92%	71%
	インテリアリフォームコース	1年	15	15	15	10	11	7	14	4	7	3	93%	70%
	給食調理コース ※R4年度まで福祉調理コース	6か月	20	20	12	11	13	4	14	2	8	4	93%	100%
			20	19	16		12	10	15	5	12	3	88%	92%
	総合ビジネスコース	1年	20	19	19	20	15	13	19	4	16	5	100%	89%
計			120	106	98	72	76	61	86	19	72	22	91%	87%
一般校計			335	268	238	191	198	176	215	44	181	35	90%	87%

※1 ものづくり大学校「ものづくり複合コース」から同校他コースへの内部進学者(R3年度:3名、R4年度:3名)は就職率算定の際、修了者から除く。

※2 [ ]書きは、前年度からの繰越者を記載(2年目コースの2年目)。

※3 訓練期間「6か月」は、4月、10月にコースを開講。

【実施状況(障害者校)】※ 令和5年6月末現在

(単位:人)

校名	科目名		訓練期間	募集 定員	入校者			① 修了者		② 就職者				就職率 (②/(①+③))	
					R3	R4	R5	R3	R4	R3	③ 就職 中退	R4	③ 就職 中退	R3	R4
技術 専門 学院 障害 者 高 等	ものづくり科	身体等	1年	10	7	3	7	3	3	3	2	3		60%	100%
	ビジネス事務科	身体等	1年	10	10	8	5	9	3	7		4	1	78%	100%
	情報サービス科	身体等	1年	10	5	5	6	2	4	2	1	3		67%	75%
	総合実務科	知的	1年	15	15	15	12	12	11	12	1	14	4	92%	93%
	計				45	37	31	30	26	21	24	4	24	5	80%
職 業 能 力 開 発 校 兵 庫 障 害 者	OA事務科	身体等	1年	20	13	11	11	8	7	9	3	9	3	82%	90%
	インテリアCAD科	身体等	1年	15	14	10	8	10	5	6	3	7	3	46%	88%
	総合実務科	知的	1年	15	15	13	16	13	8	12		10	4	92%	83%
	ビジネス実務科	精神	6か月	5	5	5	4	3	3	3		2		100%	67%
				5	4	4		4	1	3		2	1	75%	100%
	キャリア実務科	発達	1年	15	13	13	12	11	11	11	1	13	2	92%	100%
計				75	64	56	51	49	35	44	7	43	13	79%	90%
障害者校計				120	101	87	81	75	56	68	11	67	18	79%	91%

総	計	455	369	325	272	273	232	283	55	248	53	87%	88%
---	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-----

※1 身体等は、「身体障害者等」、知的は「知的障害者」、精神は「精神障害者」、発達は「発達障害者」の略。  
 ※2 訓練期間「6か月」は、4月、10月にコースを開講。



汎用旋盤切削加工  
(ものづくり大学校：機械加工コース)



電気配線実技  
(神戸高等技術専門学院：電気制御コース)



マニュアルミッション分解・組立  
(但馬技術大学校：自動車工学科)



CAD設計実技  
(兵庫障害者職業能力開発校：インテリアCAD科)

## イ 訓練コースの見直し

産業構造等の変化や地域・企業ニーズを踏まえ、来年度から一部コースを見直して訓練を実施する。

### 【主な見直し内容】

- ・多能工等マルチタスク人材の養成  
一般事務に加え、製造事務・製図まで対応可能な人材を養成するコースとして、神戸高等技術専門学院に「ものづくりオフィスワークコース」を新設
- ・労働力人口の減少への対応  
高齢者等の就職に有利な資格取得を目指すコースとして、ものづくり大学校にプロダクト技術コースを新設
- ・ものづくり人材の早期育成  
ものづくり産業の人手不足に対応するコースとして、但馬技術大学校の機械工学科を1年制に見直し

## (2) 企業と連携した訓練

公共職業能力開発施設内の訓練カリキュラムに、1週間程度のインターンシップを導入し、実際の現場で、熟練技能者の指導により実践力の向上を図る。

### 【実施状況】

(単位：人・社)

校名	科目名	R3年度		R4年度	
		実人数	受入企業数	実人数	受入企業数
ものづくり大学校	木造建築コース	8	8	15	15
但馬技術大学校	建築工学科	9	8	9	9
	機械工学科	12	7	4	4
神戸高等技術専門学院	福祉調理コース	18	6	39	13
障害者高等技術専門学院	ものづくり科	0	0	7	7
	ビジネス事務科	1	1	3	3
	情報サービス科	1	1	1	1
	総合実務科	23	16	30	21
兵庫障害者職業能力開発校	OA事務科	4	4	7	7
	インテリアCAD科	2	1	0	0
	総合実務科	19	11	32	20
	ビジネス実務科	1	1	2	2
	キャリア実務科	14	10	20	13
合計		112	74	169	115



建築現場実習  
(但馬技術大学校：建築工学科)



事務作業実習  
(障害者高等技術専門学院：総合実務科)

## 2 民間教育機関等に委託して行う能力開発

多様な訓練ニーズに迅速かつ効果的に対応するため、民間教育機関等を活用し、求職者の特性に応じた職業訓練を実施する。

### (1) 離職者等を対象とした訓練 【令和5年度予算 1,894,482千円】

求職者ニーズの高いプログラミングやWEBデザイン等のデジタル分野、パソコン基礎・経理事務分野及び人手不足が著しい介護・福祉分野等において、概ね3か月～6か月の短期間を中心に多様な委託訓練を実施する。

【分野別実施状況】 ※令和5年6月末現在

(単位：人)

分野	区分	コース数	① 募集 定員	② 入校者	入校率 (②/①)	③ 修了者	④ 就職者	⑤ 就職 中退	就職率 (④/(③+⑤))
デジタル分野	R3	41(8)	598	558	93.3%	415	412	76	83.9%
	R4	53(8)	832	731	87.9%	580	535	85	80.5%
	R5	27(10)	304	241	79.3%	29	19	17	41.3%
パソコン基礎・ 経理事務	R3	119(12)	1,767	1,269	71.8%	1,138	928	87	75.8%
	R4	114(10)	1,709	1,266	74.1%	1,021	860	99	76.8%
	R5	46(18)	462	354	76.6%	162	60	19	33.1%
介護・福祉	R3	55(16)	534	423	79.2%	405	349	3	85.5%
	R4	52(16)	505	339	67.1%	318	288	2	90.0%
	R5	33(16)	200	134	67.0%	10	1	1	9.1%
その他資格取 得・地域特性等	R3	15(3)	150	97	64.7%	100	62	6	58.5%
	R4	16(4)	163	127	77.9%	129	83	4	62.4%
	R5	11(4)	95	73	76.8%	7	2	0	28.6%
計	R3	230(39)	3,049	2,347	77.0%	2,058	1,751	172	78.5%
	R4	235(38)	3,209	2,463	76.8%	2,048	1,766	190	78.9%
	R5	117(48)	1,061	802	75.6%	208	82	37	33.5%

※1 ( ) は前年度から継続のコース数を内数で記載

※2 修了者・就職率は、前年度に開講し、当該年度中に終了したコースを含む

### (2) 障害者を対象とした訓練 【令和5年度予算 79,629千円】

民間教育機関、特例子会社等を活用し、障害者の特性に応じた多様な委託訓練を実施する。

#### 【コース種別】

#### ア 知識・技能習得訓練コース

民間教育機関等を委託先とし、就職に必要な知識や技能の習得を目的とした訓練を実施する。(例：パソコン基礎、ホームページ作成等)

#### イ 実践能力習得訓練コース

企業等を委託先とし、事業所の現場を活用(事業主等が実際に実施している業務に関する作業実習を中心に)した実践的な職業能力の開発・向上を目的とした訓練を実施する。

(例：飲食店、宿泊施設等)

## ウ e-ラーニングコース

通所が困難な重度障害者等を対象として、在宅でインターネット環境を活用したパソコンスキル等の習得訓練を実施する。（例：パソコン基礎、Webページ作成等）

## エ 知的障害者特別委託訓練コース

阪神友愛食品(株)を委託先とし、知的障害者が職業人としての適応性や就労に必要な体力を養うことを目的とした訓練を実施する。（例：食品流通、販促物封入等）

【分野別実施状況】 ※ 令和5年6月末現在

(単位：人)

分野	区分	コース数	① 募集 定員	②		③ 修了者	④ 就職者	⑤就職 中退	就職率 (④/(③+⑤))
				入校者	入校率 (②/①)				
知識・技能 習得訓練	R3	15	65	54	83.1%	46	16	1	34.0%
	R4	13	73	52	71.2%	39	10	3	23.8%
	R5	2	9	9	100.0%	5	0	0	0.0%
実践能力習得 訓練	R3	0	0	0	-	0	0	0	-
	R4	3	6	4	66.7%	4	1	0	25.0%
	R5	1	3	3	100.0%	3	1	0	33.3%
e-ラーニング	R3	6	24	14	58.3%	13	5	0	38.5%
	R4	5	21	11	52.4%	9	2	0	22.2%
	R5	2	6	6	100.0%	-	-	-	-
知的障害者 特別委託訓練	R3	1	15	15	100.0%	15	15	0	100.0%
	R4	1	15	10	66.7%	9	9	0	100.0%
	R5	1	15	15	100.0%	-	-	-	-
計	R3	22	104	83	79.8%	74	36	1	48.0%
	R4	22	115	77	67.0%	61	22	3	34.4%
	R5	6	33	33	100.0%	8	1	0	12.5%



文書作成や表計算の実習  
(知識・技能習得訓練コース)



店舗での品出し作業  
(知的障害者特別委託訓練)



## II 在職者に対する能力開発

企業在職者を対象に、業務に必要な知識やより高度な技能の習得、資格取得などを支援するため、公共職業能力開発施設での短期講座の実施や、民間事業主団体等の行う能力開発を支援する。

### 1 公共職業能力開発施設内で行う企業在職者等の技能向上 【令和5年度予算 9,953千円】

人的・設備的に単独では技能向上の取組が困難な中小企業等について、そのニーズを踏まえ、ものづくり大学校、但馬技術大学校及び神戸高等技術専門学院において、企業の在職者を対象に、ものづくり技能の習得や各種資格取得のための職業訓練を実施する。

#### (1) ものづくり技能基礎講座

主にものづくり企業における入社1～2年目までの新入社員を対象とした基礎技能の習得講座を実施する。

※令和5年6月末現在

(単位:人)

コース	内容	期間 (日)	R3年度				R4年度				R5年度			
			コース数	定員	受講者	修了者	コース数	定員	受講者	修了者	コース数	定員	受講者	修了者
溶接入門	溶接の基礎知識・機器取扱等	2	1	5	5	5	1	5	5	5	1	5	5	5
旋盤入門	NC旋盤の基本プログラミングと加工技術等	3～4	5	30	16	15	7	45	28	27	2	10	7	7
CAD/CAM	2次元・3次元CAD/CAM操作の知識・技術等	3	4	40	25	24	5	50	33	31	3	30	19	17
その他	機械製図と電気の基礎講座等	2～4	6	65	36	36	7	75	37	36	3	40	19	19
計			16	140	82	80	20	175	103	99	9	85	50	48

#### (2) ものづくり技能応用講座

中小企業等の中堅・若手技能者を対象とした熟練技能の継承を目指した講座を実施する。

※令和5年6月末現在

(単位:人)

コース	内容	期間 (日)	R3年度				R4年度				R5年度			
			コース数	定員	受講者	修了者	コース数	定員	受講者	修了者	コース数	定員	受講者	修了者
TIG溶接	溶接技能者評価試験に合格できる知識・技能	2	1	5	5	5	1	5	5	5	-	-	-	-
CAD/CAM	2次元・3次元CAD操作の実践的な技術	3～6	8	48	27	27	7	45	36	30	-	-	-	-
AI・IoT	ビッグデータ、IoT等の最先端技術	2	4	40	28	26	6	60	47	46	-	-	-	-
その他	シーケンス制御・プログラミングコース、建築コース等	2～5	5	48	33	32	8	68	46	43	3	18	12	12
計			18	141	93	90	22	178	134	124	3	18	12	12

### (3) 資格試験対策講座

中小企業等のニーズの高い、資格がなければ業務に従事できない分野について、民間企業と連携し、作業従事者や作業主任者に対して資格取得に向けた訓練を実施する。

※令和5年6月末現在

(単位:人)

取得資格	期間 (日)	R3年度				R4年度				R5年度			
		コース数	定員	受講者	修了者	コース数	定員	受講者	修了者	コース数	定員	受講者	修了者
アーク溶接	2～3	5	210	152	152	5	210	170	170	1	60	51	51
クレーン (5 t未満)	2	6	270	268	268	6	270	270	270	1	60	41	41
ガス溶接	2	6	245	151	150	6	245	161	161	1	60	53	50
玉掛け	3	5	190	145	134	5	200	142	132	1	40	30	30
フォークリフト	4	5	190	128	127	5	200	120	118	1	40	30	30
建築作業主任者	2	1	40	8	7	2	60	26	26	-	-	-	-
汎用旋盤加工	4	-	-	-	-	1	10	3	2	-	-	-	-
技能検定 (塗装、旋盤)	2～3	5	55	37	23	6	85	93	57	-	-	-	-
計		33	1,200	889	861	36	1,280	985	936	5	260	205	202



旋盤入門コース  
(ものづくり技能基礎講座)



CAD/CAM コース  
(ものづくり技能応用講座)



AI・IoT コース  
(ものづくり技能応用講座)



クレーンコース  
(資格試験対策講座)

## 2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援

民間事業主団体等が労働者に対して行う職業能力開発を支援する。

### (1) 認定職業訓練に対する支援

【令和5年度予算 21,644千円】

#### ア 職業訓練の認定

計画的・体系的な職業訓練の実施等を促進するため、事業所や職業訓練法人で行う職業訓練コースを県が認定する。認定コースのうち、中小企業等の行う訓練は補助金の対象となるほか、要件を満たした修了者には技能士補の称号が与えられる。

項目	R3	R4	R5(6月末時点)
団体・事業所数	38団体	38団体	38団体
訓練人数	2,878人	2,633人	4,759人(予定)

#### イ 認定職業訓練に対する補助金の交付

認定された職業訓練のうち、中小企業や職業訓練法人等の行う訓練に対して補助を行い訓練の質的水準を確保する。

(単位：団体、人)

項目	R3		R4		R5	
	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数
中小企業	4	127	5	343	7	438
経営者団体等	7	91	6	116	8	233
職業訓練法人	4	995	3	947	3	1,109
その他	2	18	2	16	2	21
計	17	1,231	16	1,422	20	1,801

※令和5年度は申請ベース

### (2) 職業訓練指導員の養成・確保

【令和5年度予算 331千円】

職業能力開発促進法に基づき、指導員講習を修了した者や職業訓練指導員試験に合格した者等に対して職業訓練指導員の免許証を交付することにより、企業での事業内訓練指導員等の養成・確保を図る。

#### 【交付実績】

※ 令和5年6月末現在

(単位：件)

区分	R3年度	R4年度	R5年度
免許交付数	111	112	18

### Ⅲ 技能の振興と職業観の醸成

熟練技能の維持継承が課題とされる中、技能者に対する評価の確立や技能継承の促進、若年労働者に対する職業能力開発を進めるなど、技能尊重気運の醸成を図る。

また、次代を担う青少年のものづくりへの関心や職業意識を醸成するため、ものづくり体験事業に取り組む。

#### 1 技能の向上

##### (1) 技能検定の普及促進

【令和5年度予算 58,827千円】

##### ア 技能検定の実施

技能に対する社会一般の評価を高め、労働者の技能と地位の向上を図るため、兵庫県職業能力開発協会と連携して技能検定を実施し、合格者に国家資格「技能士」の称号を与える。



技能検定実技試験（構造物鉄工）

##### 【技能検定実施状況】

区 分	R3年度			R4年度			R5年度（6月末時点）			
	受 検 申請者 人	合格者 人	合格率 %	受 検 申請者 人	合格者 人	合格率 %	受 検 申請者 人	合格者 人	合格率 %	
特 級	302	103	34.1	299	96	32.1	-			
1 級	1,993	947	47.5	1,829	872	47.7	1,158			
2 級	2,534	1,360	53.7	2,204	1,134	51.5	1,363			
3 級	1,250	772	61.8	878	598	68.1	445			
単一等級	114	48	42.1	39	16	41.0	62			
小 計	6,193	3,230	52.2	5,249	2,716	51.7	3,028			
技能 実習生 対象 (随時 実施)	随時2級	534	6	1.1	504	1	0.2	148	5	3.4
	うち実技	528	389	73.7	499	336	67.3	147	59	40.1
	随時3級	2,969	701	23.6	1,676	356	21.2	269	63	23.4
	うち実技	2,891	2,780	96.2	1,596	1,521	95.3	263	212	80.6
	基礎級	1,134	1,085	95.7	1,951	1,870	95.8	589	570	96.8
うち実技	1,106	1,086	98.2	1,933	1,886	97.6	574	565	98.4	
小 計	4,637	1,792	38.6	4,131	2,227	53.9	1,006	638	63.4	
合 計	10,830	5,022	46.4	9,380	4,943	52.7	4,034		試験実施中	

## イ 若者の技能検定受検の促進

「ものづくり分野」を支える人材の確保・育成を図るため、25歳未満の在職者の技能検定実技試験受検手数料の一部を減免（最大9,000円）し、若者が受検しやすい環境を整備する。

### 【2級及び3級実技試験受検手数料】

（単位：円）

区 分	機械加工、建築大工等 (105 職種)	機械検査、婦人子供服 (2 職種)	和裁、電気製図等 (4 職種)
一般	18,200	15,100	13,300
25歳未満の在職者 (最大9,000円減免)	9,200	6,100	4,300
在校生※ (実技試験受検料の1/3減免)	12,100	10,100	8,900
25歳未満の在職者 (最大9,000円減免)	3,100	2,900 (検定実施限度額)	

※在校生は、高校・大学・職業訓練校等の在校生で3級を受検する者

## (2) 技能者の顕彰 【令和5年度予算 635千円】

広く社会一般に技能尊重の気運を高め、労働者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能者を表彰する。



兵庫県技能顕功賞表彰式

### ア 県が実施する表彰（兵庫県知事賞）

#### (7) 兵庫県技能顕功賞

極めて優れた技能を有し、兵庫県の産業発展に功績のあった、年齢35歳以上かつ経験年数15年以上の技能者を表彰

【実績】 (単位：人)

年 度	R2	R3	R4	累計
推薦者数	140	151	147	
受賞者数	126	125	134	9,718

#### (4) 兵庫県青年優秀技能者表彰

優れた技能をもって顕著な功績を収め、将来を嘱望される年齢35歳未満かつ経験年数7年以上の青年技能者を表彰

【実績】 (単位：人)

年 度	R2	R3	R4	累計
推薦者数	79	67	75	
受賞者数	36	39	42	939

### イ 国が実施する表彰（厚生労働大臣表彰）

卓越した技能を有する現役の技能者を「現代の名工」として表彰

【実績】 (単位：人)

年 度	R2	R3	R4	累計
推薦者数	28	31	28	
受賞者数	6	12	7	396

(3) 「ひょうごの匠」の認定

【令和5年度予算 23千円】

技能に対する県民の関心を高め、技能の伝承及び後継者の育成を図るため、県内の優れた技能者の中で、技能伝承及び後継者育成に熱意を持つ者を「ひょうごの匠」として知事が認定する。

【「ひょうごの匠」認定者数】

(令和5年6月末現在)

貴金属装身具製作	13	石工	14	印章彫刻	7	建築大工	11
広告美術仕上げ	10	写真	12	寝具	21	建具	11
表具	23	菓子製造	14	婦人子供服製造	17	紳士服製造	7
内装仕上げ施工	14	塗装	17	日本調理	33	左官	12
畳製作	15	ガラス施工	12	造園	12	金属塗装	11
建築板金	17	フラワー装飾	13	時計組立・修理	3	西洋調理	25
瓦葺き	11	和裁	16	26 職種 371人 ※うち R5 年度認定 13人			

(4) ものづくり技能競技大会への支援

【令和5年度予算 210千円】

ア 技能競技大会参加への支援

技能者の技能・知識及び社会的地位の向上に資するため、技能競技の全国大会に参加する選手を支援する。

【支援内容】

- ・ 県ユニフォームの贈呈、激励会の開催
- ・ 技能士団体への選手育成強化費支援  
(材料費、講師謝金、会場費の1/2相当)
- ・ 大会と県出場選手の広報



技能五輪全国大会(電工)

【兵庫県参加者の状況】

(単位:人)

大会名	対象者	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
全国技能 グランプリ (隔年開催)	・ 熟練技能者(1級技能士)が対象 ・ 和裁、日本料理、旋盤、フラワー装飾など28職種で競う	参加者:27	—	※R5に延期	R6. 2 開催予定  福岡県ほか
		入賞者:17 (金賞2名)			
		愛知県			
技能五輪 全国大会	・ 青年技能者(23歳以下)が対象 ・ 和裁、日本料理、電工、構造物鉄工など41職種で競う	参加者:21	参加者:19	参加者:21	R5. 11 開催予定  愛知県
		入賞者:6 (金賞1名)	入賞者:7 (金賞1名)	入賞者:8 (銀賞2名)	
		愛知県	東京都	千葉県	
全国障害者 技能 競技大会 (アビリンピック)	・ 障害者が対象 ・ 表計算、喫茶サービスなど25職種で競う	参加者:6	参加者:5	参加者:6	R5. 11 開催予定  愛知県
		入賞者:2 (銅賞1名)	入賞者:1 (銅賞1名)	入賞者:2 (銅賞2名)	
		愛知県	東京都	千葉県	

## イ 「ものづくり兵庫」技能競技大会の開催

県内の業態や規模の異なる企業の若者技能者をはじめ、教育訓練機関や職業能力開発施設で学ぶ人々が、互いに切磋琢磨し技能向上に取り組む機会として、兵庫県職業能力開発協会と共催で競技大会を実施する。

### 【実施内容】

開催日：令和5年11月17日（金）  
場 所：ものづくり大学校  
競技職種：旋盤、溶接、金属塗装、建築大工  
対 象 者：実務経験3年未満の若年技能者（概ね35歳まで）  
募集人数：58人

## 2 ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成

### (1) ものづくり体験事業 【令和5年度予算 53,395千円】

本県産業の礎となるものづくりへの関心を高め、技能者の後継育成につなげるため、小中学生および高校生に対し、本格的なものづくり体験の機会と場を提供する。

#### ア ものづくり体験学習（中学生・高校生対象、学校行事やクラブ行事等で利用）

匠の技やものづくり企業の製品を「見て学び、触って学ぶ」展示学習を実施した後に、各工作室に分かれて、ひょうごの匠やものづくり企業OB等の熟練技能者の指導を受けながら、本格的なものづくり体験を行う。（令和5年度から高校生にも拡充して実施）

#### 【ものづくり体験例】

中学生：フラワーデザイン、フランス料理、和裁巾着、表札、チリトリ製作など  
高校生：金属塗装、金属コースター、木工製作、フード付ベストなど

年度	R3年度	R4年度	R5年度(予定)
参加校	68校	85校	90校 (中学校60校、高校30校)
参加人数	7,275人	9,164人	9,450人 (中学生6,300人、高校生3,150人)

※R3、R4はいずれも中学生対象



フラワーデザイン



チリトリ製作

## イ ものづくり体験講座（主に小学生対象、個人やグループ単位で利用）

大型連休や夏・冬休み期間等に、小学生を主な対象とした親子工作教室などを開催する。木工・金工・電工等のプログラムに加えて、伝統的工芸品・地場産品に関するものなど、多彩な講座を実施する。令和5年度から神戸地域、但馬地域にも拡充して実施する。

年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度(予定)
講座数	52 回	27 回	80 回 (体験館 20、神戸 50、但馬 10)
参加人数	395 人	314 人	640 人 (体験館 160、神戸 400、但馬 80)

※R3、R4 はいずれもものづくり体験館で実施

## (2) 技能フェスタ

【令和5年度予算 3,000 千円】

ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成を図るため、親子を対象に多彩なものづくり体験イベント「技能フェスタ」を神戸市、兵庫県技能士会連合会、神戸市技能職団体連合会との共催により開催する。

### 【実施内容】

開催時期：令和5年10月28日（土）～10月29日（日）

場 所：神戸国際展示場3号館

内 容：技能体験(全37ブース)、製作実演、作品展示、即売等

参加団体：表具、建具、畳、左官、洋裁、日本調理等46団体・施設

入場者数：3,277人（令和4年度実績）



ミニ屏風作り（表具）



出し巻玉子作り（日本調理）